

行徳総合病院の「そらまめ教室」とは...

皆さんの腎臓の働きや病気についての理解を深め、

腎臓の働きをよりよく保つことを目的としています。

“腎臓の働きが低下し始めたらどうしたらよいのか？”

という疑問に対して、

医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、ソーシャルワーカーが

それぞれの立場からお手伝いしていきます。

担当医のご紹介

内科医長

青山 雅則

略歴

平成13年 北里大学医学部卒業
平成15年 北里大学腎臓内科入局
平成20年 北里大学腎臓内科助教

資格

日本内科学会認定内科医
日本腎臓学会腎臓専門医
日本内科学会総合内科専門医
身体障害者福祉法指定医
日本人間ドック学会人間ドック認定医
日本医師会認定健康スポーツ医



今回、他院で腎臓病と診断された方にも「そらまめ教室」にご参加いただけるようにした経緯としましては、末期腎不全になる前にかかりつけ医の先生方と連携し、腎臓病を進行させない・透析導入をできるだけ遅らせたいという思いからです。

最終的な目的は、地域の方々がCKDに関する知識を持っていただき、教室に参加された方々が家族や友人に話をしていただき、関心が高まってくれることを期待しています。

そのために当院では様々な職種がかかわってチーム医療で腎臓病患者様を支えます。そらまめ教室では、医師による腎臓の働きと治療法について、看護師による日常生活の注意点、管理栄養士による栄養指導、食事療法の理解、薬剤師による服薬指導、臨床検査技師による検査の意味合いと検査の見方、医療ソーシャルワーカーによる医療費、身体障害者手帳などの情報提供といった話をしており、行徳総合病院を挙げてのプロジェクトチームともいえます。

対象の患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。